

NO.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 50代	非小細胞 肺癌 (なし)	1600mg 1回	急性心筋梗塞 非小細胞肺癌の患者。心筋梗塞, 高血圧, 糖尿病の既往なし。 喫煙10本/日, 総コレステロール正常。 投与約2年前 : 非小細胞肺癌発症。 投与1年11ヵ月前 : カルボプラチン, パクリタキセル投与。 投与1年9ヵ月前 : 放射線療法施行(9日間)。 投与1年3ヵ月前 : カルボプラチン, ドセタキセル水和物投与。 投与8ヵ月前 : カルボプラチン, ドセタキセル水和物投与。 投与開始日 : 本剤1600mg, カルボプラチン投与。 投与8日目 : 労作時前胸部痛あったが放置。 投与10日目 : 自宅にて就眠中, 深夜より前胸部痛出現。午前中に来院。前胸部痛は持続し, 昼頃心電図にてIII, V ₁₋₅ :QSパターン, III, aVF, V ₁₋₅ :ST上昇。CK(CPK)2172IU/L, AST(GOT)175IU/L, ALT(GPT)45IU/L, LDH551IU/Lにて前壁心筋梗塞と診断。夕方より緊急心臓カテーテル検査(CAG)施行。前下行枝に完全閉塞を認め, これに対して経皮的冠動脈形成術(PCI)施行。 投与32日目 : 再度CAG施行し, 同狭窄部位にステント留置。 投与34日目 : 退院。	企業報告
併用薬: カルボプラチン(被疑薬), パクリタキセル(被疑薬), ドセタキセル水和物(被疑薬), リン酸デキサメタゾンナトリウム, メトクロプラミド, 塩酸グラニセトロン					

NO.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 50代	腭癌 (閉塞性黄 疸, 胃炎)	1400mg 1回	紅斑 投与6週間前 : 腭癌と診断。 投与開始日 : 本剤1400mgを投与。 投与5日目 : 右背部から右腋窩のそう痒感出現。 両背部から両上肢に発疹出現。ヒドロコルチゾン・クロタミトン 配合剤を塗布。 投与6日目 : 皮膚科受診し, 体幹左右対称に浮腫性播種性紅斑を認め, 本 剤による薬疹の可能性が高いと診断された。塩酸オロパタジ ン, フランカルボン酸モメタゾン軟膏投与(7日間)。 投与7日目 : 皮疹少し悪化したため, ベタメタゾン内服(3日間)。 投与11日目 : 皮疹は色素沈着を残しながら消退傾向となった。 投与13日目 : ヘパリン類似物質を処方し, 軽快。	企業報告
併用薬: ロキソプロフェンナトリウム(被疑薬), スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム配合剤, テプレノン, ファモチジン, センノシド, 塩酸ラモセトロン					